第９号議案

第６９回日本学校農業クラブ全国大会

平成３０年度鹿児島大会における

クラブ員代表者会議の発表テーマについて

|  |  |
| --- | --- |
| 第一分科会 | 第一分科会 |
| 第二分科会 | 第二分科会 |
| 第三分科会 | 第三分科会 |

Ⅰ単位クラブに関する問題

A　外への働きかけに関すること（校内から校外へ、地域と連携、海外交流等）

B　内への働きかけに関すること（クラブ員一人ひとりへ、農業クラブの活性化等）

C　農業の未来に関すること

Ⅱ連盟運営（日連・ブロック・県連）に関する問題

A　外への働きかけに関すること（校内から校外へ、地域と連携、海外交流等）

B　内への働きかけに関すること（クラブ員一人ひとりへ、農業クラブの活性化等）

C　農業の未来に関すること

**Ⅰ．単位クラブに関する問題**

**A　外への働きかけに関すること（校内から郊外へ、地域と連携、海外交流等）**

【東北海道】食意識の低下・食生活環境の改善に対して農業クラブが貢献できること。

【東北海道】野生鳥獣による農作物への被害に対して農業クラブが貢献できること。

【東北海道】農業クラブの活動を地域の方々に知ってもらうためにはどうしたらよいか。

【青森県】クラブ員の三大目標を高めるプロジェクト活動には、どのような方法があるか。

【宮城県】各地域、市町村の行政団体と農業高校が一緒に活動できることは何か。

【秋田県】農業高校への入学希望者を増やすため、中学校への働きかけとして農業クラブができるこ

とは何か。

【山形県】農業高校に入学する中学生を増やすために、どのようなＰＲ、また農業クラブを主体とした効果的な学校説明を行えばよいか。

【山形県】中学生にとって魅力的な農業高校とは。

【福島県】地域から必要とされる農業クラブ活動にはどのようなものがあるか。

【栃木県】地産地消をすすめるために、私達クラブ員ができることは何か。

【群馬県】自分たちと同世代の人たちにどうやって活動を広めるか。

【群馬県】農業高校を知ってもらうために、食農教育を通して小中学校との交流でできることは何か。

【群馬県】学校農業クラブ活動を通して行う地域社会への貢献。

【埼玉県】地域との連携の中で、国・県・市・町等公的機関との連携はどの様なものがあるか。

【千葉県】農業高校の活動内容を多くの方に知ってもらうには、どうすれば良いか。

【千葉県】農業高校の魅力を地域の方に伝えていくために、「産・官・学」とどのような連携活動を行っていくことができるか。

【千葉県】農業高校ＰＲのために、地域へどのような情報発信が必要か。

【神奈川県】地域と連携し、地域の特産品を活かすために農業クラブ員が貢献できること。

【新潟県】地域の方々に理解される農ク活動を展開するにはどうしたらよいか。

【新潟県】中山間地や地元商店街などの地域を活性化するために農業高校生にできることは何か。

【福井県】農業高校の良さを知ってもらう方法について。

【岐阜県】学校の実習製品を地域にもっと知ってもらうためにどのような取り組みをしているか。

【岐阜県】農業クラブ員としてどのような地域貢献活動に取り組んでいるか。

【岐阜県】地域との交流から新しい農業のスタイルを見出すために農業クラブ員ができること。

【岐阜県】農業クラブの行事を校外に向けて有効活用できないか。

【三重県】地域に必要とされる「農業高校生」とは、いつ、どこで、どんなことが出来る人か。

【大阪府】農業クラブ員を通し、小・中学校などの教育機関と連携を図って出来ること。

【広島県】クラブ員が，地元地域を活性化させるためにできることには何があるだろうか。

【広島県】クラブ員が，地域の伝統を絶やさないためにできることは何があるだろうか。

【広島県】地域資源を活用した商品開発を行うために農業高校ができることは何か。

【福岡県】地域密着型の農業高校を目指すために、農業クラブ員が「科学的」に地域交流をし、「社会性」向上を目指すには、どのような活動があるか。

【佐賀県】農業高校ならではの特色を生かし、地域に発信していくためにはどうしたらよいか。

【佐賀県】農業高校で学んだことを生かし、地域の人に農業の楽しさを知ってもらうためにどのような取組をしたら良いか。

【佐賀県】地域との連携や海外交流を増やすためにはどうすればよいか。

【佐賀県】農業の知識を活かすためには、地域との交流の中でどのような活動ができるか。

【長崎県】地域農業の活性化に向け農業クラブが貢献できること。

【長崎県】行政との連携事業における問題点について考える。

【熊本県】農業高校への進学を希望するメンバーを増やすために、農業クラブ活動の魅力を体感してもらう企画や行事には、どのようなものがあるか。

【熊本県】インターネットやＳＮＳを利用して、農業高校や農業クラブ活動を効果的にＰＲするためには、どのような工夫をする必要があるか

【大分県】農クの活動や県大会について、多くの人に知ってもらうためには。

【大分県】アグリマイスター制度の認知度について。

【宮崎県】定期的に実施している校外活動と、一過性のものではなく継続していくポイントは何か。

【鹿児島県】地域との連携をさらに深めるためにはどうすればよいか。

**B　内への働きかけに関すること（クラブ員一人ひとりへ、農業クラブの活性化等）**

【東北海道】農業クラブ員の社会性向上のためにどのような活動をしていけばよいか。

【青森県】クラブ員が連携することで貢献度の高い相手には、どのような対象・団体があるか。

【宮城県】クラブ員の農業クラブ活動への積極的な参加を促すためにはどうしたらよいか。

【秋田県】将来就農を目指す生徒を増やすために、農業クラブとして何かできることないか。また、意識するべきことは何か。

【山形県】農業を学ぶ生徒が少なくなっている中、農業クラブの各種競技会や大会運営など、少人数でもレベルの高い競技会内容や運営をどのように進めて行けばよいか。

【山形県】これからの日本農業をどうするか。～若者はどうかかわっていくべきか～

【山形県】クラブ員全員が興味・関心を持てる農業クラブ活動とは何があるか。

【福島県】新入生に対して、農業クラブへの意識を高めるためにはどのようにしたらよいか。

【福島県】単位クラブ運営を円滑により活発にするためにはどのようにしたらよいか。

【栃木県】私達がクラブ員であることを自覚するためにはどうしたらいいのか。

【群馬県】農業クラブ活動を効果的に発信するためにはどうしたらよいか。

【埼玉県】農ク以外の委員会や部活動等課外活動との連携はどの様なものがあるか。

【千葉県】クラブ員に、クラブ員であることを自覚させ、高い意識を持たせるためにどのような活動が必要であるか。

【千葉県】一人一人の農業クラブ員が互いに切磋琢磨するには、どうすれば良いか。

【神奈川県】一人一人が農業クラブ員としての自覚を持ち、農業クラブへの関心を高めるためにできること。

【新潟県】農業クラブ員一人一人が自主的に活動するためにはどのように働きかければよいか。

【新潟県】クラブ員に「リーダーシップ」を活用してもらい、農業クラブの活動を知ってもらうにはどうすれば良いか。

【福井県】農業クラブ員が農業クラブの活動を楽しいと思ってもらえる方法。

【岐阜県】各クラブ員がもっと興味・関心をもって取り組める活動はないか。

【岐阜県】校内農業クラブ員が率先して農業クラブ活動に参加をし、活動を盛り上げていくためにはどのようにしたらよいか。

【岐阜県】農業クラブ活動に対するクラブ員の意識をどう高めたらよいか。

【三重県】学校に必要とされる「農業クラブ員」とは、いつ、どこで、どんなことが出来る人か。

【大阪府】研究活動により積極的に参加する生徒を増やすにはどうしたらよいか。

【広島県】校内の農業クラブ員を，積極的に行事参加させるためには何ができるだろうか。

【広島県】農業クラブ員，の自覚をもたせる工夫には，どんな方法があるだろうか。

【広島県】農業技術向上や知識の獲得のために農業クラブ員ができることは何か。

【福岡県】農業クラブ員が、農業高校生として自覚・自立するために、どのような活動があるか。

【佐賀県】農業クラブの活動をクラブ員に知ってもらうためにはどうしたらよいか。

【佐賀県】農業クラブ役員一人一人が「指導性」を身につけるためにはどうすればよいか。

【長崎県】単位クラブ員を増やすために、農業クラブが取り組むべきことはなにか。

【長崎県】クラブ員全員が参加し盛り上げられる活動をするためにはどうしたらよいか。

【熊本県】農業や農業関係高校に対する、世の中全体からの注目や期待を意識し、全クラブ員が自信や意識を高めるためには、どのような活動が必要か。

【熊本県】総合高校で、農業クラブ活動への理解を深め、活動を活性化させるためには、どのような工夫が必要か。

【鹿児島県】クラブ員一人一人が積極的に農業クラブ活動に参加するにはどうすればよいか。

【鹿児島県】クラブ員が各競技に積極的に取り組むためにはどうすればよいか。

【鹿児島県】クラブ員全員が活躍するためにはどうすればよいか。

【鹿児島県】農業クラブの認知度を上げるにはどのような方法があるか。

**C　農業の未来に関すること**

【東北海道】農業従事者・農業技術者の育成について農業クラブが貢献できること。

【東北海道】農村の人口を増やすために農業クラブができることはなにか。

【青森県】農業・農村問題の解決に貢献できるクラブ員の活動には、どんな方法があるか。

【山形県】先進的な農業法人と農業高校が連携し、商品開発や農業イベントの開催など、農業高校生の進路を見据えた活動はできないか。

【福島県】農業従事者を目指す新入生を迎えるためにはどのようにしたらよいか。

【群馬県】地域農業の継承を発展のために農業クラブ員ができること。

【埼玉県】農家の交流と、地域と他校との交流をどうしたらできるか。

【千葉県】将来の農業を守っていく人材を育てるために、クラブ員としてどのような活動を行っていく必要があるか。

【千葉県】日本の農業を守っていくために、クラブ員としてどのようなことを学んでいく必要があるか。

【千葉県】日本の農業の未来のために、私たちが今からできることは何か。

【神奈川県】次世代の人々が農業に関心を持つためにはどうすればよいか。

【新潟県】農ク活動で地域を活性させるにはどんな方法が考えられるか。

【新潟県】培った農業に関する知識や技術をこれからの農業にどう生かしていくか。

【新潟県】食糧自給率向上のため、農業高校生に何ができるか。

【福井県】農業高校で学んだことをどう生かすか。

【岐阜県】地域の子供たちに農業について興味を持ってもらうために農業クラブとして何ができるか。

【岐阜県】海外の大規模農業に対抗するために、耕作放棄地等を使って農業クラブ員にできることは何か。

【岐阜県】農業をどのようにして将来に生かしていったらよいか。

【三重県】１０年後、社会に必要とされる「農業高校卒業生」とは、いつ、どこで、どんなことが出来る人か。

【広島県】耕作放棄地を使った地域おこしについて，農業クラブ員ができることには，どのようなことがあるだろうか。

【広島県】農業従事者を増やすためには，どのような手立てが考えらえるだろうか。

【広島県】超高齢化社会となった日本において農業が抱える課題とその解決策について。

【福岡県】後継者不足が不安視される中、若年層の就農者を増やすために、農業クラブ員として活動するには、どのようなものがあるか。

【佐賀県】若者に農業の魅力を伝えるために農業クラブ役員ができること。

【長崎県】高齢化が進む地域の農家に対し農業を学ぶ高校生ができることは何か。

【長崎県】農業の「良さ」をクラブ員がどのように未来へ伝えるか。

【熊本県】未来の農業クラブの活性化に向け、現役クラブ員と、農クのＯＢ・ＯＧとが交流したり、連携したりする機会を増やすために、どのような活動が効果的か。

【宮崎県】農業の持つ魅力と、どんな条件が揃えば自分が農業を始めようと思うか。

【鹿児島県】農業高校で学んだことを社会に出てからどう活かすか。

**Ⅱ．連盟運営（日連・ブロック・県連）に関する問題**

**A　外への働きかけに関すること（校内から郊外へ、地域と連携、海外交流等）**

【青森県】他の専門高校（農業・工業・商業・水産）と交流・連携することで、どのような地域貢献ができるか。

【秋田県】全国大会がブロック開催になる可能性も考え、ブロック内での交流や連携事業として今以上にできることは何か。

【秋田県】他の単位クラブと連携し販売やイベントを行う場合、どのような課題があるか、また、それを解決するにはどのようにすべきか。

【栃木県】ブロック連盟間など、他都道府県連盟との交流を充実させるためにはどのようにすればよいか。

【群馬県】他国のクラブ員と交流を深めるためにはどうすれば良いか。

【埼玉県】クラブ員の交流の場を増やせないか。

【千葉県】農業クラブ活動をもっと世間に知ってもらい、高い評価を得るためにはどのような活動が必要であるか。

【千葉県】多くの人に農業クラブを知ってもらうには、どんな情報発信が効果的か。

【新潟県】食育の推進のため、県連盟事務局として取り組まなければならないことは何か。

【岐阜県】農業高校の認知度をもっと高めるにはどうすればよいか。

【岐阜県】農業クラブ活動を一般の方に知ってもらうためにはどのようなＰＲが必要か。

【岐阜県】農業クラブ活動について他県とのつながりを広める方法はないか。

【広島県】県外の農業高校との交流を増やすためには，どんな取組みが必要だろうか。

【長崎県】地域活性化に向け農業クラブが貢献できることはなにか。

【長崎県】連盟としてどのように地域と連携をするべきか。

【熊本県】クラブ員が自ら考え実行するプロジェクト学習は、現在、多くの分野から注目されているが、より広い範囲に向け発信し、活用してもらうためには、どのような活動が必要か。

【熊本県】他の産業系高校や、海外のクラブ員と連携し、農業高校を拠点として取り組むことのできる活動には、どのようなものがあるか。

【鹿児島県】学校間の連携を図るにはどうすればよいか。

【鹿児島県】災害などにより，クラブ員に被害があった場合，連盟としてできることは。

【鹿児島県】近年自然災害による農作物被害が大きいが農クにできることはなにか。

【鹿児島県】農業クラブのネットワークを使ってできる活動にはどのようなことがあるか。

**B　内への働きかけに関すること（クラブ員一人ひとりへ、農業クラブの活性化等）**

【宮城県】環境問題を地球規模で考え、今、自分たちにできることは何か。

【山形県】他校・他県の農業クラブ員との交流をすすめる活動にはどのようなものがあるか。

【福島県】県連盟の密接な関係を構築するためにはどのようなことが考えられるか。

【栃木県】都道府県連盟各校の生産品や加工品を持ち寄り、交流の輪を広げるためにはどのようにすればよいか。

【栃木県】ブロック連盟大会を迎えるにあたって都道府県連役員やクラブ員の意識を高めるにはどのようにすればよいか。

【群馬県】他の都道府県と交流を深めるためにはどうしたらよいか。

【埼玉県】栽培や飼育を実践しながら、交流活動をするためには。

【千葉県】クラブ員が興味を持ち、クラブ員として活動したいと思ってもらうためには、農業クラブをどのように変えていく必要があるか。

【千葉県】農業クラブ活動活性化のために、全国統一基準（県大会・ブロック大会）を成功するためには、クラブ員としてどのような働きかけができるか。

【千葉県】農業クラブ活性化のために、ブロックの見直しを行うためには、クラブ員としてどのような

働きかけができるか。

【千葉県】他県の農業クラブ活動を知り、密に情報共有するにはどのようにすべきか。

【新潟県】アグリマイスター制度を理解し、クラブ員一人ひとりの農業クラブ活動への関心を高めるにはどのようにすれば良いか。

【岐阜県】ＦＦＪ環境調査に積極的に参加してもらうにはどうしたらいいか。

【岐阜県】全国の農業クラブ員との交流を充実させるにはどのような活動が必要か。

【岐阜県】県連全体で農業クラブ活動の活性化に繋がる活動はできないか。

【大阪府】各都道府県連盟を活性化させるために出来ること。

【大阪府】農業高校と地域の共生を強めていくには

【広島県】学校農業クラブ連盟の活動を広く知ってもらうためにできることには何があるだろうか。

【佐賀県】他校との交流の中で、良いところを自分の高校に持ち帰り、生かすためにはどうしたらよいか。

【長崎県】他の連盟組織（工業・商業・水産など）との連携を進めるべきか。

【長崎県】農業クラブ員が活動を理解し、全員で活動を盛り上げていくためにはどのようにしたらよいか。

【熊本県】自然災害が多発する現代社会で、防災や復興支援のために、全国の農業クラブ員が、地域を越えて連携できる方法とは何か。

【鹿児島県】農業クラブ活動を活性化するにはどうすればよいか。

**C　農業の未来に関すること**

【青森県】農業・農村の未来のために、農業クラブと連携することが望ましい団体には、どのような団体があるか。

【宮城県】農業の担い手を増やすためにはどうしたらよいか、農業を学ぶ高校生が話し合い、まとめて公表してみてはどうか。

【埼玉県】簡単にできる環境問題への対処方法にはどの様なものがあるか。

【千葉県】日本の農業を守っていく人材を育てるために、クラブ員として農業クラブ活動をどのように変えていく必要があるか。

【千葉県】「今」私たちが日本の農業のためにできることは何か。

【新潟県】地元の特産物をクラブ員が把握し、地域の活性化につなげるために日連や県連盟事務局としてできることは何か。

【岐阜県】環境問題に対して農業高校が貢献できることは何か。

【岐阜県】新規就農者を増やすために農業クラブができることは何か。

【岐阜県】担い手を育成する手段にはどのような方法があるか。

【佐賀県】農業関連産業従事者を増やすためにはどうすればよいか。

【長崎県】高齢化が進む地域の農家に対し農業を学ぶ高校生ができることは何か。

【長崎県】農業の持つ教育力をどのようにして将来の子供達へ伝えるか。

【熊本県】昔ながらの農業や農村の魅力、また高齢者の方がお持ちの、農・食・自然環境に関する知恵や技術を受け継ぐために、農業クラブとしてできることは何か。

【熊本県】地域の担い手を育てる農業高校を守っていくために、小中学校と連携してできる農業クラブ活動として、どのような活動が考えられるか。

【大分県】農業技術検定の分野について（検討・見直し　など）

【鹿児島県】どうすれば国民の多くが農業に興味をもつか。